要請番号(JL63022B51)

募集終了





| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------------|------------|--------------|------|-----------|------|----------------------------|
| モザンビー ク | G182 小学校教育 | 20~45 歳のみ | 個別 | 新規 1代目 | 2年 | • 2023/3 • 2023/4 • 2024/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名(日本語)

2) 配属機関名(日本語)

人間・教育開発省

シブトゥトゥイニ初等教員養成校

3) 任地 (マプト州マニッサ) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国内には38校の初等教員養成校があり、27校が国立(IFP)、11校が私立(EPF)で配属先はマプト州にある国立養成校であり、2001年に日本の無償資金協力により建設された。中等教育後期(日本の高校3年生に相当)まで終えた学生が3年間で小学校の教員になるための知識・技術を学び、生徒400名、教員数36名の規模である。国立の初等教員養成校は、普通、附属小学校が同教記は特設されているが、当後2020年まず2名の民間が表現している。または、全寮制で、学校のお供与に表現を担けませた。 の敷地内に寮が併設されている。2003年から2009年まで3名の隊員が美術などの分野で派遣されていた。

【要請概要】

1)要請理由・背景

モザンビークは2005年から初等教育無償化政策を開始、その後、学校数増加でアクセスが改善し、1998年に180万人だった初等教育学校の就学者数が2016年に680万人まで増えた。これに対し、教員の育成が急務となり、無資格教員の採用を2009年まで続けたことに加え、IFPが相次いで建設された結果、教員数こそ増加したものの、その質とレベルには大きな課題を残している。JICAはIFPの学生の算数・理科指導力向上のため、養成課程で使用する算数教育と理科教育関連教材の開発、全国のIFPへの意思がなまれた。 んでおり、JICA海外協力隊の要請がなされた。

- 2) 予定されている活動内容(以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しな がら活動を進めます)
- 1.同僚と共に「算数指導法」の授業を実施する。 2.日本での授業運営や指導経験を同僚、生徒たちに共有する。 3.マイクロソフトオフィスなどの簡単な指導(可能であれば)
- 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プリンター、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】 校長:男性、50代 教職員数:36名、平均年齢36歳

【活動対象者】 算数科指導教員4名 5) 活動使用言語

6) 生活使用言語

7) 選考指定言語

ポルトガル語

ポルトガル語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[学歴]: (大卒) 備考:同僚と同レベルが求められる [免許]: (小学校教諭)

[経験]: (教員経験) 3年以上 備考:同僚と同レベルが 求められる [性別]: () 備考:

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (10~30℃位) [電気]: (不安定) [通信]: (インターネット可 電話可) [水道]: (不安定)

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.